

きんもくせい

編集目標 人間尊重の教育を求めて

令和7年 学校教育だより

March **3** 第364号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会

発行・埼玉県富士見市教育委員会

電話・049-251-2711(内線622)



めざせ!6年間の自己ベスト

写真提供/みずほ台小学校

春と制服

富士見台中学校 二年

大川 祐季

新しい 制服を着て 上る坂

タイと春風

ひらひらり

期待を胸に 入学式

長いスカート

ひらひらり

新しい 友達できた 帰り道

舞い散る桜

ひらひらり

二つの影が

ひらひらり

はじめに

現在国内では、日本語指導を必要とする児童生徒数が年々増加傾向にあり、現在は約七万人いるといわれている。

令和六年十二月現在、本市の日本語指導対象児童生徒数は五十九人となり、日本語指導教員二人体制で指導にあたっている。来日して間もなく、生活をしたり、周囲とコミュニケーションをとったりするための日本語を学び子や、おしゃべりはとても上手だけれど学習に使われる言語の理解に支援が必要な子など、学年も国も日本語レベルも実に様々な児童生徒が各学校に在籍している。今回はその中でも、私が今担当している「日本語と教科の統合学習」の様子について実践報告をする。

生活言語と学習言語

私たちは、日本語のおしゃべりができ、周囲とも上手に関わることができるような外国にルーツをもつ児童生徒について「日本語がうまくて何の問題もない」と感じてしまいがちである。しかし、日常生活で使う「生活言語」と教科学習で使う「学習言語」は日本語として全く異なるものであり、生活言語は二三年で習得できることにに対し、学習言語の習得には五〜七年が必要になってくるといわれている。努力をして異文化の環境に慣れ、生活言語を身に付けてきた児童生

日本語指導担当教員 関沢小学校 教諭 中田 彩子

で、自信をもって 児童生徒を育成する の統合学習～



勝瀬小学校 6年
塩谷 龍平

ピアサポートリーダーをして

僕は、ピアサポートリーダーとして、たて割り遊びの「ドロケイ」を計画しました。そして、いろいろな学年が仲よく遊べるようなルールも考えました。たて割り遊びをやってよかったことは、学年関係なく楽しめたことです。牢屋にいる人を助けたり、1年生と手をつないだりすることで、仲を深めることもできました。普段ではできないことができたので、たて割り遊びをして正解だと思いました。卒業まであと少ししかないけど、勝瀬小学校のみんなが仲良くなれるよう活動し、僕が卒業しても助け合える学校になってほしいです。



日本語と教科の統合学習

【小学校 第三学年

「すがたをかえる大豆」

本時の展開

① 日付・曜日・天気

数の数え方(○本・○冊)

② 国語辞典チャレンジ

③ おしゃべりタイム

④ 形容詞ゲーム

(反対ことば)

⑤ 教科書本文の学習

・言葉を知る活動

・話し合う活動

⑥ まとめ

それぞれ、日本語を学習す

ると同時に教科学習にもつなげることができるよう、ねらいをもつて活動を設定した。

② 国語辞典チャレンジ

「すがたをかえる大豆」には、「炒る(いる)」「煮る(にる)」などの普段あまり使わない言葉が多く出てくるため、教室で国語辞典を活用する場面が出てくるのが予想できた。

三年生では二学期に国語辞典の使い方学習をしている。復習として短時間のゲーム活動を繰り返し取り入れることで、教室での活用の際にも自信をもって国語辞典を開けるよう定着を図った。

日本語指導のプログラム

- (1) サバイバル日本語
- (2) 日本語基礎
- (3) 技能別日本語
- (4) 日本語と教科の統合学習
- (5) 教科の補習

この中で、教科学習を通じて日本語を学ぶ「日本語と教科の統合学習」に焦点を置いて次の構成で授業を行った。

わかる授業

＝ 日本語指導 ＝

日本語指導の充実
学習に参加できる
～日本語と教科

特別支援教育

自己決定の大切さを感じて

針ヶ谷小学校 教諭 中島 央子

私が「特別支援教育」に携わるようになってから、ずい分と長い年月が経ちました。そして、針ヶ谷小学校の子どもたちと学ぶ中で大切にしたいことが、明確になってきています。それは、「子どもたちが自分のことを自分で決めることができるようになる」ということです。

小学校は、六年間の学びがあります。子どもた

④ 形容詞ゲーム（反対言葉）

本文中には、キーワードとなる様々な形容詞が登場する。その多くが対となる言葉をもっているものであるため、形容詞のカードで対になるもの同士のパアを作る活動を取り入れた。より速い時間でペアを作ることでゲーム性を高めると同時に、言葉を聞いてすぐにイメージできる瞬発力につながる活動とした。

⑤ 教科書本文の学習

・言葉を知る活動
私たちにとっては身近な、

みそ、しょうゆ、とうふなどの言葉は、外国にルーツのある児童にとって聞き慣れないものである場合が多い。そこで、写真カードを見ながら知

っている、見たことがある、好き、など児童の経験につなげて話したり、カルタにして言葉に慣れさせたり、漢字で示して新出漢字「豆」の様々な読み方を知ることにつなげたりした。

・話し合う活動

前の活動の終わりにカードを「好き」と「好きじゃない」

あたたかい言葉、子どもの気持ちを受けとめる言葉、代弁する言葉……。くり返しくり返し教師が意図し考え抜いた言葉をかけ続け、じっくりと一緒に考える中で、子どもたちは少しずつ「自分で考え、決める」ことができるようになっていきます。

『オアシスからカタパルト（発射台）へ』は通級による指導に使われる言葉ですが、私は常にこの言葉を思い描いて指導にあたっています。子どもたちがいつか「自分で決めて」飛び立つ日まで、伴奏者として一緒に走り続けます。



に分けておくようにし、大豆の実物を見せてどれも同じ大豆が変わった姿であることを伝える。

児童は「うそ！納得いかない！」と笑って驚きを見せたが、「納豆はわかる。一番わからんのはしょうゆ。」など、自分なりの考えを話すことができた。これらがどのようにしてその姿に変わったのかは今後国語の時間に学習することを伝え、教科への期待感をもたせて学習を終えた。

本時は教室で単元に入る前の予習として位置付けた。また、あえて教科書に触れる前に、説明文への苦手意識をもつことなく児童と内容の間にある日本語のハードルを下げること、説明文の内容を理解したいという興味や関心をもてるようにすることができた。

おわりに

週に二回程度の取り出し授業だけで習得できる内容はほんの少しかもしれないが、この一時間を積み重ねる中で、日本語で学習する力や学習へのモチベーションを高めていきたい。「日本語で楽しく遊んだりおしゃべりをしたりしていたら、いつの間にか教室での学習のこともわかってきた！」となる授業にできるよう、学び続けたいと思う。

指導・講評

関沢小学校校長

関口 循子

「日本語と教科の統合学習」では、日本語で学習できることをめざしています。「教師」として児童生徒の学力向上を願うことは、立場こそ違っても皆同じであると再認識しました。

本市で初めての日本語指導担当教員として日々研鑽に励む中田教諭の授業実践は、児童生徒の自尊感情を高める授業であったと思います。

歌声が育む夢と希望

水谷東小学校 保護者 千葉 純平

僕には小学三年生の娘がいます。一年生、二年生の間は学校に通わない選択をしていた娘ですが、今年は先生方の温かいサポートのおかげで、楽しく学校生活を送っています。そんな娘が音楽会に出演したときのことをお話しします。

少し話は変わりますが、僕は音楽家です。歌手として人前で歌い、ボーカルコーチとしても活動しています。そんなこともあり、ステージの経験も多く、プロの演奏にもたくさん触れてきました。だから今回の音楽会は「子どもたちのかわいい演奏が見られたらいいな」くらいの軽い気持ちと期待がある程度でした。

ところが、子どもたちが歌い始めた瞬間、僕は衝撃を受けました。全身に鳥肌が立ち、「なんだ、このエネルギーは!？」と心が震えました。音程もリズムも完璧ではないのに、一音一音がまっすぐに届き、心を突き

動かす力があつたのです。

一点を見つめながら歌う子、表情豊かに表現する子、体を揺らしながらリズムに乗る子、それぞれの個性が調和し、一つの旋律を創りだしていました。その美しさに圧倒され、気付けば最後の六年生まで夢中で聞き入っていました。

そのとき、僕はふと小学四年生の頃の自分を思い出しました。厳しい練習の末、音楽会で大歓声を浴びたあの瞬間。あの時の喜びが、僕の音楽人生の原点だったのかもしれない。

もしかすると、今日ここで演奏した子どもたちの中にも同じように未来への種がまかれた子がいるかもしれない。そう思うと、感謝の気持ちが溢れてきました。僕は誰よりも大きく手をたたき、「ありがとう!」と心から伝えました。

娘、そして子どもたちへー素晴らしい時間をありがとう。

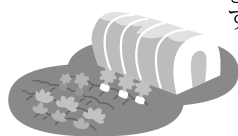


関沢ファーム 新たな幕開け

関沢小学校

関沢小学校には学校敷地内にとっても大きな学校農園『関沢ファーム』があります。関沢小学校の全児童は、ファームが大好き。そこに住む小さな生き物や、雑草の中に咲く可憐な草花を探し、休み時間にはたくさん

の児童が集まり大賑わいでいます。そんな時、地域で農園を営む方が力を貸してください。



り、ファームに茶色のじゅうたんが敷かれたように耕運機で耕していただきました。新たな幕開けで蘇った関沢ファーム。これからは地域・保護者・学校を結ぶ農園として関小だからできる取組を展開していきます。

共に学ぶ

鶴瀬小学校 保護者 飛田和 恵里

親になって、今年で十年が経つ。三人の娘たちのアルバムを見返すと、「こんなに小さかったんだ」と子どもの成長ぶりに驚かされる。子どもを育てることの大変さ、忙しさをずっと感じながらここまで来たが、十歳になる長女が友だちと遊ぶ時間が長くなり、子どもと過ごす時間の貴重さを改めて感じている。

家庭では娘たちに体験してほしいことを夫と話し合い、子どもの興味があるものを選んで出かけている。お菓子の工場見学に行つて製造工程を見たり、動物園や水族館で生き物と触れ合ったり、田んぼ探検隊に参加して、年間を通じた米作りを体験したりした。「楽しかった!」と、子どもたちも、いろんなことを知って驚いたり、はしゃいだり、

はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

たくさんさんの表情を見せてくれる。ある時は、親の方が子ども以上に驚いたり、感心したりと、子どもたちと一緒に教わり、楽しい時間を共有している。

こうした体験を通して、まずいろんなことに興味、関心をもってもらいたい。「世の中にはこんなすごいことがあるんだよ。いま食べているものは時間をかけてたくさんの方の働きでつくられているから感謝していただこうね。」

など少しずつ子どもたちに伝えていきたい。そして、子どもたちが将来どんな仕事をするか決めるときや、大人になって生活するときに、子どもの頃の体験が少しでも役に立ってくれたらと願っている。



教育課題特集

夢ときぼうを

人との繋がりで成長する子ども達

ふじみ野児童館館長 松尾 信悟

児童館は子どもの成長に合わせて、様々な遊びを通じて「心の成長」と「体の成長」を育みます。児童館では貸し出しおもちゃや卓球などで自由に遊ぶことができます。友だちと一緒に遊びに来て、一人で遊びに来てでも大丈夫。クラス、学年、学校を越えた友だちもつくれます。

児童館には児童館職員がいます。子どもたちが安全に安心して遊べる場をつくれます。子どもたちと一緒に遊ぶ中で信頼関係をつくり、困ったときには相談に乗り、気持ちに寄り添います。配慮が必要な子どもは学校などと連絡を取り合うこともあります。

児童館の行事やお祭りは多くのボランティアや地域で活動している団体が協力してくれます。活動を通じて子どもたちは地域に住んでいる人たちとの交流が深まります。

児童館へは日常的に乳幼児親子も来館します。小学生の子どもたちは乳幼児親子と同じ部屋で一緒に遊ぶこともあります。先日は小学二年生の女の子が折り紙が折れない幼児に折り方を教えてあげました。最後には自分が折った折り紙を幼児にプレゼントし、幼児の父親は大変喜んでお礼を言いました。お礼を言われた小学生は照れながらも嬉しそうでした。

児童館は単なる遊び場ではなく、人との出会いの場でもあります。子どもたちはいろいろな人たちと交流することで、地域社会の一員としての意識を育み大きく成長していきます。大勢のお友だちの来館をお待ちしています。



ふじとく

スマイル

富士見特別支援学校

遠方に見える富士山、青空を映す水田、豊かな自然に囲まれた本校は市立学校の中で、県内唯一の小・中・高等部をもつ、知的の市立特別支援学校です。多様な教育的ニーズをもった児童生徒が在籍しており、「児童生徒一人一人の自立を育てる笑顔あふれる学校」をめざすことを学校像とし、十二年間の切れ目ない指導・支援を通して生きる力

をはぐくんでいます。そんな本校も地域の方々をはじめ多くの方から支えられ来年度、開校五十周年を迎えます。校内では、開校五十周年に合わせ記念ソングが誕生しました。児童生徒が学校の好きなところを想像しながら歌詞に入りたい言葉を投票し、子どもたちの素直な気持ちが込められた素敵なソングとなりました。最後に記念ソングの歌詞を一部紹介します。



仲良く 元気な 笑顔 ふじとくスマイル ゴーゴー ゴー みんなの夢 輝く空 勇気を出して 頑張ろう 「ふじとく スマイル」より



50周年夢よ!飛んでけ

今年50周年を迎えた本校は、全校児童によるバルーンリリースを行いました。夢を乗せた風船は他県にまで飛んでいきました。

諏訪小

学校では三学期も終盤を迎え、本年度のまとめの時期に入っています。この一年の間、子どもたちはさまざまな行事を通して、多くの貴重な体験から心身ともに成長し、進級への思いを抱きながら、新年度を見据えています。

これまで、教育活動に対して、保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力をいただき、実りある活動ができたことに感謝申し上げます。

学校TODAYでは、各学校の取組をお伝えする貴重な場となりました。来年度も子どもたちの生き生きとした姿をお伝えしていきます。この一年間ありがとうございました。

今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします。



生徒たちが幸せに生きるために

本校では、学校研究のテーマに沿って各委員会活動や授業実践を行い、主体的に考え取り組む姿が見られました。

西中



自然の恵み

2年生と5年生で合わせて300個の干し柿を作りました。干し柿のある風景はほっころの関沢っ子でした。

関沢小



超えろ、昨日までの自分!!

11月末、「風の子マラソン記録会」を行いました。学校の全員が昨日までの自分を超えようと、一生懸命走りました!

針ヶ谷小

YAコーナーに行ってみよう

富士見市立中央図書館 矢部 晴夏

みなさんは、「YA」という言葉を聞いたことがありますか?「ヤングアダルト(若い大人)」の略称で、文学の世界では主に13歳から19歳までの世代を指す言葉です。

中央図書館には、そんなYA世代にぴったりの本を取り揃えたYAコーナーがあります。同世代の少年少女が主人公の物語をはじめ、部活や勉強、学校生活、友人関係、恋愛や思春期の悩みなど、YA世代特有のテーマで書かれた本が多いのが特徴です。また、アニメ化等で話題になることも多い、ライトノベルと呼ばれるジャンルの物語もYAコーナーに置かれています。書架は、児童コーナーから一般開架へと続く扉のすぐそばにあり、図書館へ通う子どもたちが、児童書からYA、YAから一般文学へと自然な流れで成長していけるように配置しています。

YAコーナーの中で、中高生のみなさんに、ぜひ読んでもらいたい私のお気に入りの一冊は、『カラフル』(森絵都/著)です。刊行から二十年以上読み継がれ、映画化されたこともある人



水谷東小

いのちの授業

助産師さんを講師に招き「いのちの授業」を行いました。
5年生を対象とし、いのちのはじまりやいのちの誕生について学びました。



勝瀬小

世界は一つ!It's a small world!

11月の音楽朝会はEnglishコラボ!地球の人たちが平和で仲よく
なる未来を願い、「It's a small world」を英語で歌いました。



みずほ台小

書く力を高めるための工夫 (ICT活用)

国語科で一人ずつ物語を作る活動において、友だちと互いに感想
やコメントを伝え合い、考えを深めることができました。



東中

自ら考え、探究する力を養う朝鑑賞

各学級で朝の会の時間に絵画を鑑賞し、気づいたことや感じた
ことを生徒が自分の言葉で伝え合い、メタ認知を高めています。

学 校



勝瀬中

地域ボランティアで活躍!

生徒たちが地域のボランティア活動に積極的に参加しています。
写真は山室で実施された「絶滅危惧種ホトケドジョウ」の保全活動
プロジェクトのようすです。

職場体験で図書館に来てくれた中学
生や、「中学生におすすめの本はありま
すか?」と声をかけてくれた利用者の方
に、私は必ずYAコーナーを案内して
いますが、まだあまり広く知られて
いないように感じます。なにを読めば
いいか迷った時、児童書よりも少し大
人びた本を読みたい時、ぜひYAコー
ナーに立ち寄ってみてください。みな
さんの人生を生きる上で、心の拠り所
になるような素敵な本と出会ってもら
えたら、私はとても幸せです。

気小説です。主人公である、一度死ん
だ魂の「ぼく」は、前世とあるあや
まちを犯したことで輪廻の輪から外れ
てしまいます。しかし、抽選により再
挑戦のチャンスを与えられ、真(まこ
と)という男子中学生の体にホームス
テイすることになり……というあらすじ
です。読み手に寄り添ってくれるよう
な温かく美しいストーリーで、心に残
る文章が多く、読んで以来、この本が
ずっと私の心の拠り所になっています。
悩みがあってもなくても、共感できる
言葉がきつとひとつは見つかるような
素敵な本です。この本との出会いは、
司書をめざし始めた、当時高校生の私
にとって、特に、児童サービスに関わ
る仕事になりたいと思うきっかけのひと
つとなりました。

教育委員会だより

卒業おめでとうございませす

春の暖かな日差しの中、市内小・中・特別支援学校の卒業生の皆さんが新たな門出を迎えます。保護者のみなさまには、お子様の成長を振り返り、感慨もひとしおのことでしょう。

卒業生のみなさんは、通い慣れた学校や一緒に過ごした仲間たちとの別れに寂しさを感じながらも、これからの生活に期待を膨らませているのではないのでしょうか。新しい場所で、たくさんの人との出会いを通して、広い視野をもった心豊かな人に成長することを願っています。

在校生のみなさん、4月から1学年ずつ進級します。この1年間を振り返り、新しい目標に向かって、たくましく元気に学校生活を送りましょう。

令和7年度富士見市立小・中・特別支援学校入学式 期日：4月8日（火）入学見込み人数は1月20日現在

	開式時刻	入学見込人数
鶴瀬小学校	11:05	79人
水谷小学校	13:30	160人
南畑小学校	10:55	66人
関沢小学校	11:00	81人
勝瀬小学校	13:30	61人
水谷東小学校	11:00	19人
諏訪小学校	11:05	114人
みずほ台小学校	13:00	81人
針ヶ谷小学校	11:00	30人
ふじみ野小学校	13:35	61人
つるせ台小学校	11:00	86人
富士見台中学校	9:55	223人
本郷中学校	9:45	121人
東中学校	9:45	102人
西中学校	9:20	132人
勝瀬中学校	10:05	224人
水谷中学校	9:20	134人
富士見特別支援学校	14:00	27人



のびのび育つ一年生

富士見市立富士見特別支援学校

内藤彩夏



はすべてのことに「はじめて」が付く一年でした。慣れない集団生活の中で戸惑うことも多かったようですが、様々な経験を積んで子どもたちは体も心も大きく成長しました。特に大きく

ん取り入れ、できたときには「すごい！カッコいい！」などの言葉と拍手で大いに称賛しました。最初は教員の促しで手をつないでいた子どもたちでしたが、何度か繰り返し取り組んでいくう

時が経つのは早いもので、気が付けばもう一年が終わろうとしています。私が担任する六人の子どもたちが入学してきたことも、つい昨日のことのように感じます。子どもたちにとって

成長したのは友だちとかかわる力です。クラスでは友だちと手をつないで歩く活動に力を入れて取り組みました。移動教室や日々の活動の中で友だちと手をつないで移動する活動をたくさん

ちに自ら友だちの手を取って歩くことができるようになりました。友だちと手をつなぐ子どもたちは「できたよ！」と言わんばかりのうれしそうな表情で大人も思わず笑顔になりました。

他にも外で遊ぶときには、友だちのそばへ行き靴を用意してあげたり、お休みの友だちがいたら「〇〇くんおやすみ！明日元気になるよ！」など友だちを気遣う言葉が自然と出てきたりと、相手を気にかけて、かわる姿がたくさん見られるようになりました。友だち同士でかわる子どもたちの笑顔はとても輝いていて、人とかかわりの大切さを私に教えてくれています。子どもたちの成長に誇らしさを感じ、残り少ない日々になごり惜しさを感ぜながら、私は今日も笑顔で子どもたちを迎えます。

編集日記

令和六年度もいよいよ最後のひと月となる。そこで、私自身がかかわらせていただいた学校と地域の皆様との連携について振り返らせていただく。

五月に、地域まちづくり協議会総会に参加させていただいた。他校で三年ぶりに炊き出し訓練が実施され、保護者や行政の関係課と共に避難について児童が学んでいると聞いた。

青少年市民会議総会では、本校の運動会でオリジナルの運動会の歌を歌う児童たちの様子を動画で見ていただいた。

地域子ども教室運営委員会交通安全対策協議会、放課後児童クラブとの定例面談、六月には、小学校区体育祭実行委員会、一月には、賀詞交歓会などにお声がけいただいた。

地域行事に参加するたびに「我がまち」に対する熱い思いを感じた。そして、本校にも地域の子育て力・教育力が一緒に積みあがっていくような仕組みを充実していきたいと考えた。それによって、学校の特色になり「地域の学校」となっていくだろう。既に、地域から自慢される学校は富士見市にたくさんある。地域への感謝と新たな目標を胸に新年度に備えたい。

(関口循子)